JA 全農 ET センターニュース平成 21 年 2 月特別号

「受精卵利用農家に対する不受胎時の負担軽減対策について」

日頃、本会受精卵を御利用いただきありがとうございます。

現在、生産者経営支援のために不受胎対策を全農 ET センターでは実施しております。平成 20 年 10 月 1 日より平成 21 年 3 月末日までに本会受精卵を発注され、平成 21 年 7 月末までに移植を終了し不受胎の場合、申請を規定に従い手続きいただければ、不受胎受精卵 1 個につき 1 万円の対策費を支出しております。本対策は今年 3 月末日までで終了となりますので、下記 3 回の受精卵リストから、発注され、本不受胎対策を是非御活用ください。

< 今年度内の受精卵リスト提示日と締め切り日 >

平成 21 年 2 月 19 日 (リスト発信) 平成 21 年 2 月 25 日 (重複受精卵の抽選日)

平成 21 年 3 月 5 日 (リスト発信) 平成 21 年 3 月 11 日 (重複受精卵の抽選日)

平成 21 年 3 月 19 日 (リスト発信) 平成 21 年 3 月 25 日 (重複受精卵の抽選日)

受精卵出荷は遠隔地の場合、新年度の4月1日以降となることもありますが、 上記3回での発注受精卵については不受胎対策の対象となりますので御安心く ださい。

なお、申請手続きの詳細については別紙(実施要領抜粋:北海道版、都府県版) を御確認のうえ、速やかな申請をお願いもうしあげます。御不明の点は JA 全農 ET センター:担当 竹内まで御連絡ください。

(TEL: 01564-2-5811, FAX: 01564-2-5813)

受精卵利用農家に対する不受胎時の負担軽減対策

都府県版

実施要領抜粋

1. 対象全農受精卵 平成20年10月1日~平成21年3月31日までに出荷(新鮮·凍結)された全ての受精卵。 ただし当日持ち込みで採卵された受精卵及び体外受精卵を除く。

2. 全農受精卵移植報告書

受精卵出荷時に同封。

3. 対象期間及び各報告期日

· <u>刈家期间及ひ合物</u> 。	<u> </u>						
出荷時期	移植報告	ETセンター とJAへ FAX〆切日 厳守	受胎·不受胎確認 報告時期	ETセンタ- とJAへ FAX〆切日 厳守	対策申請〆切月 (支払い申請)	支払い月	
平成20年10月1日 ~ 平成21年3月31日	平成20年10月ET	翌月10日		平成20年10月~ 平成20年12月末まで			
	平成20年11月ET		平成20年11月~ 平成21年1月末まで				
	平成20年12月ET		平成20年12月~ 平成21年2月末まで				
	平成21年1月ET		<u>.</u>	平成21年1月 ~ 平成21年3月末まで			
	平成21年2月ET				平成21年2月~ 平成21年4月末まで		不受胎確認
	平成21年3月ET		平成21年3月 ~ 平成21年5月末まで	翌月10日	報告の翌月末	あった翌月末	
	平成21年4月ET		ı	平成21年4月 ~ 平成21年6月末まで			
	平成21年5月ET		平成21年5月~ 平成21年7月末まで	-			
	平成21年6月ET		平成21年6月 ~ 平成21年8月末まで				
	平成21年7月ET 平成21年8月ET 平成21年9月ET		平成21年7月~ 平成21年9月末まで				

平成21年8月~9月末の期間に移植された受精卵については平成21年9月末までに 不受胎確認されたもののみ対象といたします。

この事から、確実に対策費の対象となるよう平成21年7月末までに移植実施をお願い申し上げます。

4. 実務フローチャート【基本形】

移植証明書発行

<u>凍結卵の出荷</u> 凍結受精卵は受精卵証明書と全農受精卵移植報告書を同封。 <u>新鮮卵の出荷</u> 新鮮卵出荷時に全農受精卵移植報告書(白紙)を同封、翌月に受精卵証明書を送付。

受精卵の移植 /移植技術者及び移植技術者団体/は全農受精卵移植報告書に都度記載。

移植実績の報告 Fax ETセンター 移植実績を<u>「移植技術者及び移植技術者団体」</u>が翌月10日まで 月末〆翌月10日まで Fax に、ETセンターとJAにFaxを送付。

■ ETセンターへ報告の場合は、折返しETセンターより移植技術者に返送された時点で受付完了となります。

妊否の確認 /移植技術者及び移植技術者団体/は全農受精卵移植報告書に都度記載。

<u>ETセンターへ報告の場合は、折返しETセンターより移植技術者に返送された時点で受付完了となります。</u> 受胎の場合も記載いただ〈事となりますが、報告期限後の記載が無い場合は受胎確認済とさせていただきます。

・ 不受胎対象の 受精卵移植証明書及び受精卵証明書の原本を<u>【移植技術者及</u> 1) 受精卵移植証明書(原本)

受情が多値に明音及び受情が能明音の原本を<u>1991後間が</u> 「「受情が多値に明音(原本) <u>び移植技術者団体」</u>が の翌月20日をめどに、JAに送付。 2) 受精卵証明書(原本) 3)全農受精卵移植報告書(写)

対策費の申請 <u>【/A/</u>は、右記の5点を の翌月末までに県連ま 1)受精卵移植証明書(原本) たは県本部に送付。 2)受精卵証明書(原本)

5)対策費申請書

受精卵利用農家に対する不受胎時の負担軽減対策

北海道版

実施要領抜粋

1. 対象全農受精卵 平成20年10月1日~平成21年3月31日までに出荷(新鮮・凍結)された全ての受精卵。 ただし当日持ち込みで採卵された受精卵及び体外受精卵を除く。

2. 全農受精卵移植報告書

受精卵出荷時に同封。

3. 対象期間及び各報生期口

_ 対象期間及ひ合報告期日										
出荷時期	移植報告	ETセンター とJAへ FAX〆切日 厳守	受胎·不受胎確認 報告時期	ETセンター とJAへ FAX〆切日 厳守	 対策申請〆切月 (支払い申請)	支払い月				
平成20年10月1日 ~ 平成21年3月31日	平成20年10月ET	翌月10日	平成20年10月~ 平成20年12月末まで	翌月10日	不受胎確認 報告の翌月末	対策申請のあった翌月末				
	平成20年11月ET		平成20年11月~ 平成21年1月末まで							
	平成20年12月ET		平成20年12月~ 平成21年2月末まで							
	平成21年1月ET		平成21年1月~ <u>平成21年3月末まで</u> 平成21年2月~ 平成21年4月末まで							
	平成21年2月ET									
	平成21年3月ET		平成21年3月~ 平成21年5月末まで							
	平成21年4月ET			平成21年4月~ 平成21年6月末まで						
	平成21年5月ET		平成21年5月~ <u>平成21年7月末まで</u>							
	平成21年6月ET		平成21年6月~ 平成21年8月末まで							
	平成21年7月ET 平成21年8月ET 平成21年9月ET		平成21年7月 ~ 平成21年9月末まで							

平成21年8月~9月末の期間に移植された受精卵については平成21年9月末までに 不受胎確認されたもののみ対象といたします。

この事から、確実に対策費の対象となるよう平成21年7月末までに移植実施をお願い申し上げます。

4. 実務フローチャート【基本形】

不受胎対象の

続

凍結卵の出荷 凍結受精卵は受精卵証明書と全農受精卵移植報告書を同封。 新鮮卵出荷時に全農受精卵移植報告書(白紙)を同封、翌月に受精卵証明書を送付。

受精卵の移植 _____*「移植技術者及び移植技術者団体」*は全農受精卵移植報告書に都度記載。

Fax Fax 移植実績を<u>【移植技術者及び移植技術者団体】</u>が翌月10日まで 移植実績の報告 ETセンター 月末 / 翌月10日まで 「に、E⊺センターとJAにFaxを送付。 JA

ETセンターへ報告の場合は、折返しETセンターより移植技術者に返送された時点で受付完了となります。

→ *「移植技術者及び移植技術者団体」* は全農受精卵移植報告書に都度記載。 妊否の確認

受胎·不受胎 Fax ETセンター 妊否実績を<u>/移植技術者及び移植技術者団体/</u>が翌月10日まで 確認の報告 に、ETセンターとJAにFaxを送付。 Fax ΙΔ 月末〆翌月10日まで

ETセンターへ報告の場合は、折返しETセンターより移植技術者に返送された時点で受付完了となります。 受胎の場合も記載いただ〈事となりますが、報告期限後の記載が無い場合は受胎確認済とさせていただきます。

受精卵移植証明書及び受精卵証明書の原本を<u>/移植技術者及</u>

移植証明書発行 *び移植技術者団体」*が の翌月20日をめどに、JAに送付。

- 1)受精卵移植証明書(原本) 2)受精卵証明書(原本)
- 3)全農受精卵移植報告書(写)

//A/は、右記の5点を の翌月末までにETセン 対策費の申請 ターに送付。

- 1)受精卵移植証明書(原本)
- 2)受精卵証明書(原本)
- 3)全農受精卵移植報告書(写)
- 4) J A 等用 生産者別対策明細書

5)対策費申請書

対策費の支払

【*<u>E Tセンター</u>】*は、対策費申請を取り纏め の翌月 末までに、ジェネティクス北海道を通じ各JAへ支払